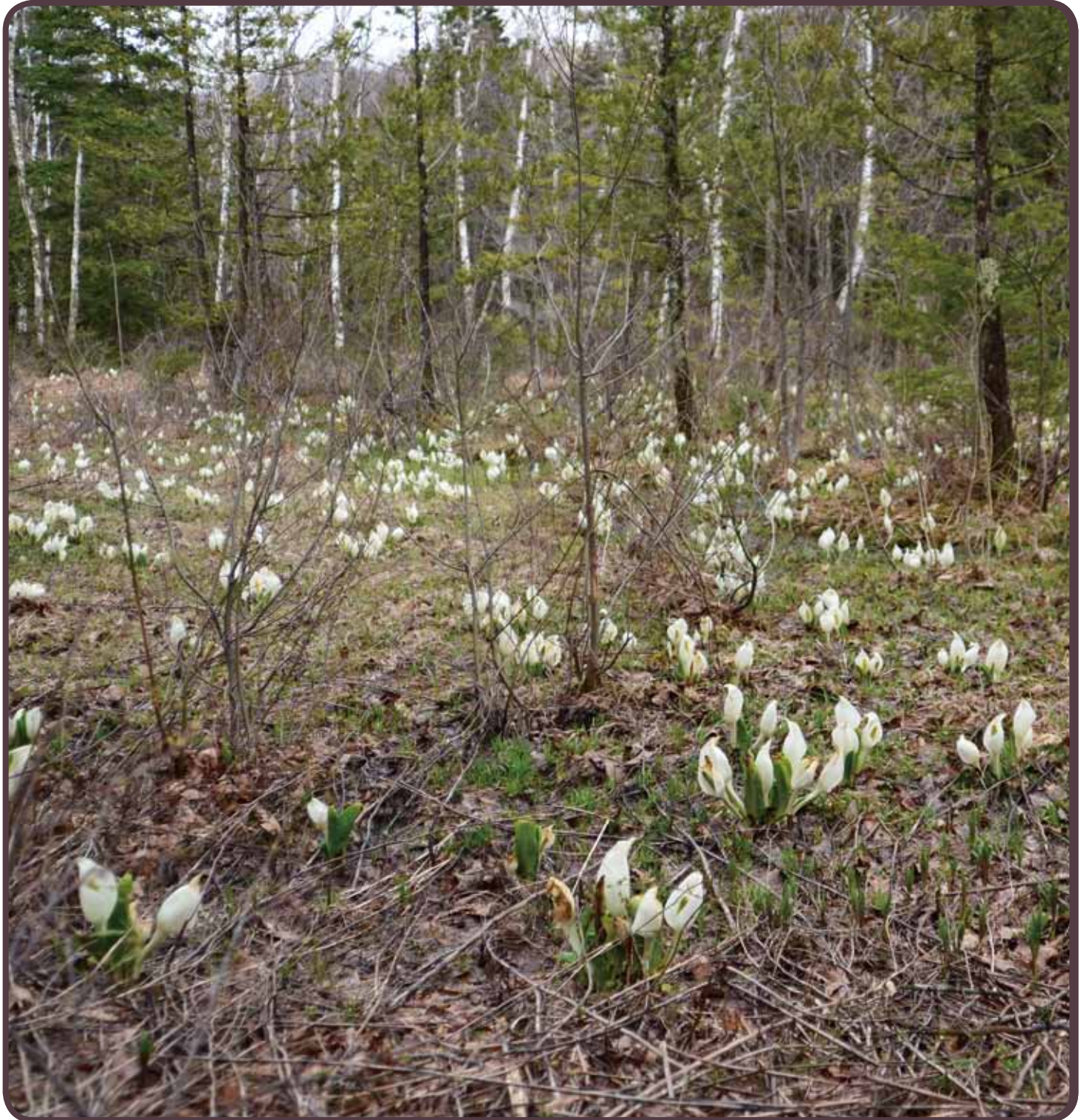




2020
No.157

4



特集

わたしの美しい森フォトコンテスト

詳細については「日本美しい森 お薦め国有林」のウェブサイト
(http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/)をご覧ください。



にっぽん
「日本美しい森 お薦め国有林」のご紹介

やけはし 焼走り自然観察教育林 (岩手県)



【概要】

焼走り自然観察教育林は、岩手県の最高峰であり日本百名山の岩手山(2,038m)の麓に位置しています。国の特別天然記念物「焼走り熔岩流」の中を歩く自然観察路が整備されているほか、温泉やキャンプ場を有する「岩手山焼走り国際交流村」に隣接しており、岩手山麓の大自然を満喫できるアウトドアスポットとなっています。

【見どころ】

「焼走り溶岩流」は、約300年前の岩手山噴火で流れ出た熔岩が固まってできたもので、最大幅約1.5km、全長約4km、面積約150haにもなります。噴火から300年近く経った現在でも荒涼とした大地が広がり、植生の回復が遅いため、変遷途上の様子を観察することができます。「自然観察路」沿いの展望台から望む雄大な岩手山と漆黒の大地は一見の価値があります。

また、熔岩流に隣接するカラマツ林には、バリアフリーの遊歩道が整備されています。これからの季節、新緑に彩られたカラマツ林で、岩手山麓の春を感じてみてはいかがでしょうか。

さらに、岩手山への登山道(焼走りコース)には、「高原植物の女王」といわれるコマクサの国内最大級の群生地があり、初夏には可憐なピンクの花が見られます。

【イベント等】

毎年6月には「焼走り溶岩流祭り&旧車ミーティング in 八幡平」が開催され、懐かしい車が全国各地から集合するなど、大人から子どもまで楽しめるイベントが盛りだくさんです。

また、毎年7月の第一日曜日に岩手山焼走りマラソン全国大会を開催しています。なお、7月1日に開催される山開きと重なる場合は、マラソン大会は第二日曜日に開催されます。

※イベントの開催につきましては事前にHP等でご確認下さい。

【アクセス等】

東北自動車道西根ICから自動車約20分



焼走り熔岩流と岩手山



バリアフリーの遊歩道



岩手山焼走りマラソン全国大会



4 2020
No.157

Contents

- 03 特集 わたしの美しい森フォトコンテスト
- 10 TOPICS 01 林業・木材産業における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドラインの公表について
- 12 人材育成の現場から とくしま林業アカデミー／ふくい林業カレッジ
- 14 TOPICS 02 ケニアにおける林木育種プロジェクト
- 16 国有林野事業の取組 大嘗宮建設資材(カラマツの良質な皮付き丸太)の供給について
- 18 TOPICS 03 令和2年度 みどりの月間
- 19 「緑の雇用」事業ポスター(ミス日本みどりの女神 井戸川百花さん)

わたしの美しい森 フォトコンテスト



2019年度「わたしの美しい森フォトコンテスト」の
入選作品の一部をご紹介します。
(表彰式の様子等につきましては先月号をご覧ください)

林野庁長官賞

作品名 悠久の時を経て

撮影者：居原田晃嘉

部門名：景観部門

撮影地：京都府京都市 糺ただすの森 (下鴨神社)

居原田氏のコメント

この作品は、京都の三大祭りの一つで、毎年5月15日に執り行われる『葵祭』の『路頭の儀』の行列が下鴨神社の参道を進む姿を、糺の森の新緑の木々と合わせて撮影したものです。

古の「糺の森」と平安時代から続く「葵祭」そして「路頭の儀」の行列の中から牛車を被写体を選ぶことで、「悠久の時を経て」という作品名を表現しました。

写真家、福田幸広氏の講評

日本的な美しい時間をとらえた写真だと思えます。京都市内という身近な場所であっても、太古から引き継がれた森からは遠く離れた深山の森に勝るパワーを感じます。まさに「わたしの美しい森」というコンテストのテーマにぴったりの写真だと思えます。

写真家、米美知子氏の講評

深い森の中で行われる厳かな神事の様子が伝わってくる作品です。緑溢れる梢からは鳥たちのハラスりも聞こえてきそうですね。少し引き気味に撮ったことで、豊かな自然の調和が見事に表現されています。

糺の森について

「糺の森」は、縄文時代より京都の下鴨神社に自生する、エノキ、ムクノキ、ケヤキ等の広葉樹を中心とした社叢林しゃそうりんです。下鴨神社と共に「世界文化遺産」にも登録されています。四季折々の美しさと人の心をとりこむやまな名所があります。

引用・参考：糺の森財団HP
<https://tadasunomori.or.jp/about/>



下鴨神社(賀茂御祖神社)へのアクセス

京阪出町 柳駅から徒歩12分
(出典・詳細：下鴨神社HP
<https://www.shimogamo-jinja.or.jp/>)



※社叢林とは、神社の神殿や参道等を囲む森林をいいます。



審査員特別賞

作品名

槍望むライチヨウ

撮影者…加納 顕悟

部門名…生命部門

撮影地…長野県安曇野市 燕岳

加納氏のコメント

大学から始めた登山により山の魅力に魅せられ、この感動を残しておきたいとカメラを始めました。この作品は、登山日和となった天気の中、燕岳を登り切ったところ、長年の夢だったライチヨウとの対面を果たした際に撮影したものです。感動のあまり写真撮影に夢中になり、仲間との登頂記念写真には入りそびれてしまいました。

福田幸広氏の講評

素晴らしい出会いだと思います。美しい山並みと抜けるような空の下でライチヨウの親子が散歩中なのですから。私も同じ場所にいたら大興奮で撮影していたに違いありません。画面左には湧き立つ霧をわずかに写しこんだのも高山を想像させてくれます。作者の冷静な撮影姿勢が想像できる秀逸な写真だと思います。

燕岳について

燕岳は、北アルプスの山々の中でも、難所の少ない初心者向けの登山コースが存在する北アルプスの入門として人気の山です。花崗岩の白色とハイマツの緑色が鮮やかに映え、「高山植物の女王」と呼ばれるコマクサや特別天然記念物のライチヨウが生息しています。

登山口へのアクセス

【車】

長野自動車道安曇野ICから登山口駐車場(約80分)

【電車とバス・タクシー】

松本駅から穂高駅(約30分)
穂高駅から燕岳登山口(定期バスで約55分、タクシーで約45分)

(出典・詳細: 燕山荘HP)

<https://www.enzan-so.co.jp/>





審査員特別賞

作品名

しげみの中で カフェオレ見つけた

撮影者：長谷川裕一

部門名：景観部門

撮影地：長崎県佐世保市

五蔵池

長谷川氏のコメント

通常であれば池の水は、水中に沈んだ木の幹も見えるほど透き通り、幻想的な風景が広がるのですが、五蔵岳森林公園を訪れた際には、水の濁りのとても強い五蔵池が出現していました。しかし、その濁りのおかげで、水面に反射する木々の姿がとても鮮明に映し出されていたため、時間をかけて様々なアングルから撮った写真の中から選び出した一枚がこの写真です。

米美知子氏の講評

大雨の後に出現する五蔵池の神秘的な姿を独自のアングルで捉えているのがいいですね。奥のアキニレの群生だけを狙った作品が多い中、あえて手前の木々を入れることで密林感が出ています。



五蔵岳森林公園について

アキニレの群生地として知られています。五蔵池は、大雨が降り続いた後や梅雨の時期にのみ、アキニレの群生地の中に出現することから、地元の人でも目にするのが難しい「幻の池」と呼ばれています。

五蔵岳森林公園へのアクセス

「電車とバス」

佐世保駅前から石尾まで西肥バスで約40分、下車後徒歩約2km

(出典・詳細：佐世保市HP)

<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankyo/kansei/documents/taikamap-all.pdf>

<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankyo/kansei/documents/taikamap-all.pdf>

pdf)



作品名 霧の白樺林

撮影者：星野 郁男

部門名：景観部門

撮影地：長野県佐久穂町 八千穂高原



星野氏は高原に咲くレンゲツツジと白樺林の美しい風景に魅せられ、写真仲間と毎年のように八千穂高原を訪れているそうです。星野氏からは「毎回天気に恵まれたのできれいな風景としての写真は撮れているものの、このスケールの大きな自然を幻想的に撮りたいという想いで雨の降る午後に出たところ、高原に着いた時には雨もほとんど上がり、予想以上の霧の世界に出合うことができました。」とのコメントを頂きました。



八千穂高原自然園へのアクセス

【電車とバス】JR小海線八千穂駅からバスで約40分（八千穂高原自然園下車）

【車】八千穂高原ICから車で約20分

（出典・詳細：長野県公式観光サイトHP

https://www.go-nagano.net/topics_detail6/id=3752



作品名 秋を装う三方岩岳

撮影者：西山 宏

部門名：景観部門

撮影地：石川県白山市 ぶくべ谷登山道



この作品は、10月上旬に撮影したもので、西山氏が訪れた日は、登山道が2日前に開通したばかりで登山者も多かったのですが、紅葉に包まれたこの景色を見た瞬間に圧倒され、登山者が行き来する合間を見計らってシャッターを切ったそうです。

西山氏からは、「撮影場所は標高1,500mを超えますが、石川県と岐阜県を結ぶ白山白川郷ホワイトロードの駐車場から約30分と、標高の割には手軽にたどり着ける場所ですので、ぜひ多くの方に、直接この景色を楽しんでいただければと思います。」とのコメントを頂きました。

梅の木台駐車場（ぶくべ谷登山道の起点）へのアクセス

【車】白山ICから車で約100分（一般道：約70分、白山白川郷ホワイトロード：約30分）、白川郷ICから車で約40分（一般道：約10分、白山白川郷ホワイトロード：約30分）

※白山白川郷ホワイトロード（有料）開通期間：6月上旬～11月上旬

（出典・詳細：白山白川郷ホワイトロード（旧白山スーパー林道）公式ページ <http://hs-whiteroad.jp/access-price/>）



協賛企業特別賞・株式会社内田洋行賞

作品名

磨丸太 みがまるた

撮影者：南真次

部門名：景観部門

撮影地：和歌山県古座川町 こさがわ



この作品は、南氏が床柱等に用いる磨丸太を作るため32年前に約8千本の杉の苗木を植栽し、植栽後2年目から下刈、5年目からは数年間隔で枝打を繰り返し、出材できる大きさまで育て上げた森を撮影したものです。

南氏からは、「丹精込めて育てた杉を、自分で撮影した写真が賞をいただくことになり、これ以上の喜びはありません。」とのコメントを頂きました。



古座川町へのアクセス

【電車とタクシー】JR紀勢本線(きのくに線)古座駅下車後タクシーで約15分

【車】大阪から約210分、名古屋から約245分

(出典・詳細：古座川町HP)

<http://www.town.kozagawa.wakayama.jp/kankou/>



景観部門優秀賞・全国森林レクリエーション協会会長賞

作品名

冬への懸橋 ふゆへのかけはし

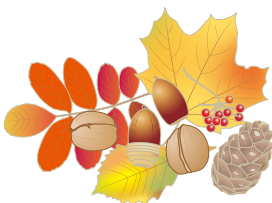
撮影者：巖右正克 いわみんたけ

撮影地：岩手県八幡平市赤川山国有林 はちまんたい



この作品は、10月末の晩秋に十和田八幡平国立公園にある赤川山国有林で撮影されたものです。この場所に普段から出かける巖右氏が、空に架かることが多い虹が山に架かる風景に出合い、魅了され、シャッターを切ったそうです。

巖右氏からは「この度は入選することができ大変嬉しく思っております。」とのコメントを頂きました。



十和田八幡平国立公園(八幡平地域)へのアクセス

【電車とバス】盛岡駅から岩手県北バスで約110分、八幡平頂上バス停下車

※12月～4月は連休

(出典・詳細：環境省HP)

<https://www.env.go.jp/park/towada/access/index.html>



作品名 **ブナ林の根開き**

撮影者：白山健悦

撮影地：青森県十和田市南八甲田



この作品は、広角レンズのカメラを地面に置き、そのカメラをスマートフォンでコントロールしながら撮影したものです。白山氏の作品は前回コンテストで東北森林管理局長賞に輝いており、今回2回目の受賞となりました。

白山氏からは、「地面から見たブナの根開きは面白そうという発想からこの撮影方法が生まれました。賞をいただきとても感激しております。」とのコメントを頂きました。



十和田市へのアクセス

【電車とバス】JR八戸駅から十和田観光電鉄(株)バスで約70分

【車】第一みちのく有料道路・百石道路「下田百石」から約30分

(出典・詳細：十和田市HP)

<http://www.city.towada.lg.jp/docs/2012051700011/>



作品名 **運べ！一直線！！**

撮影者：原田健治

撮影地：愛知県（オオタカ保護の観点から詳しい撮影地は載せていません。）



原田氏は、オオタカが巣作りを始める3月から、交尾、子育てを経て、巣立ちをする6月まで、その様子を毎年同じ森で観察してきたそうです。親鳥は子育て中も巣の補強やフンで汚れた巣を清潔に保つため、枝を折ってはヒナのために運ぶそうです。この作品はその枝運びを撮影したとのことでした。

原田氏からは「テレビや映画でしか見られないような生き物の営みを、写真を通して見ることができ、写真をやっていて本当に良かったなと感じています。」とのコメントを頂きました。



生活部門優秀賞・国土緑化推進機構理事長賞

作品名 **ちいさな大冒険**

撮影者：中村知子

撮影地：山梨県甲斐市



この作品は、中村氏のお子様が無気味な森で遊びまわっている姿を撮影したものです。森の中の中村氏ご家族を写した作品は、前回コンテストでも体験部門優秀賞に輝いており、今回2回目の受賞となりました。

中村氏からは「虫が大好きな息子が森の中で大冒険しています。山梨にはまだまだ豊かな自然が残っていますが、息子が大人になったときも、この森が残っていることを願っています。」とのコメントを頂きました。

甲斐市へのアクセス

【電車】 甲府駅からJR中央本線で塩崎駅まで約5分

【車】 中央自動車道双葉SAスマートICから約10分で韮崎IC、約5分で甲府昭和IC

（出典・詳細）：甲斐市HP

https://www.city.kai.yamanashi.jp/kanko_bunka_sports/kanko_event/kanko_eventjoho/3961.html



2月25日(火)～28日(金)の4日間、農林水産省1階「消費者の部屋」で入賞作品の紹介をしました。今回の企画では、当フォトコンテストの協賛企業「ミレー・マウンテン・グループ・ジャパン株式会社」にも協賛いただき、森で楽しく快適に過ごすための最新アウトドアアイテムの紹介も行われました。

来場いただいた方々がそれぞれのお気に入りの森とアイテムを見つけていただき、大切な仲間と森に行っていたければ、と願っております。



林業・木材産業における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドラインの公表について

林野庁では、林業・木材産業において新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドラインを作成しました。

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染者の報告が増加している状況を鑑み、林業経営体（森林組合、素材生産業者、自伐林家等）及び木材関連事業（木材製造業、木材卸売業、木材市場業等）において、感染者が発生した場合時に、保健所（感染症担当）と連携して、従業員等の健康保護とともに業務継続を図る際の基本的なポイントをまとめたものです。

関係の皆様におかれましては、是非参考にしていただき、御対応をお願い申し上げます。

1 予防対策の徹底

厚生労働省等の情報に基づいて、徹底した対策をお願いします。

● 事業者は、従業員に対し、次に掲げる感染予防策を要請します。

① 体温の測定と記録

② 発熱などの症状がある場合は、所属長への連絡と自宅待機の徹底

③ 体温37.5度以上の熱が4日以上継続した場合等は、所属長に連絡の上保健所に問い合わせ

● 事業者の業態に応じて感染予防策を行ってください。

※ 林業経営体は、現場作業に関連した次に掲げる感染予防策を実施する。

① マイクロバス等での通勤や休憩では、同乗者が長時間かつ近距離で接することから、窓を開けての換気やエアコンを用いた外気の導入等による定期的な換気の実施と、できる限りのマスクの着用。

② 休憩小屋などの狭い屋内で昼食等により長時間過ごす場合には、窓を開けるなどによる定期的な換気の

実施と、できる限り2メートルを目安とした適切な距離の確保。

※ 木材市場のせり場など常時不特定多数の者が集合する場所では、できる限りマスクを着用し、マスクを着用しない場合には2メートルを目安として適切な距離を保って取引を行うことを徹底する。

※ 木材市に参加する事業者や関係車両の運転手（木材運送業者等）の日常的に工場・市場・事業所等へ出入りする取引事業者へも感染予防策を周知徹底する。

● 事業者は、従業員から診断結果等の報告を速やかに受ける体制を構築してください。

● 事業者は、手洗いなどの感染予防策を徹底してください。

① 出勤時、トイレ使用后、事業所等への入場時には手洗い、手指の消毒。

② できる限りマスクを着用し、マスクがない時に咳をする場合にはティッシュや袖等で口や鼻を被覆。

③ 通常の清掃に加えて、水と洗剤を用いて人がよく触れるところの拭き取り清掃。

● 事業者は、イベント等の開催にあたって、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、風通しの悪い空間をなるべく作らないなど、イベントの実施方法を工夫してください。

2 患者発生時の患者、濃厚接触者への対応

事業者は、患者が発生した場合には保健所の指示に従い対応してください。

● 事業者は、患者が確認された場合には、その旨を保健所に報告し、対応について指導を受けるとともに、従業員に周知してください。

● 事業者は、保健所の調査に協力し、濃厚接触者の確定を受けます。

● 事業者は、保健所が濃厚接触者と確定した従業員に対し、14日間出勤を停止し、健康観察を実施してください。

● 濃厚接触者と確定された従業員は、発熱又は呼吸器症状を呈した場合は、保健所に連絡し、行政検査を受けます。

3 施設設備等の消毒の実施

● 事業者は、保健所の指示に従って、感染者が勤務した区域^{※1}の消毒を実施します。

緊急を要し、自ら行う場合には、感染者が勤務した区域のうち、頻繁に手指が触れる箇所^{※2}を中心に、アルコール^{※3}で拭き取り等を実施して下さい。

※1 工場、倉庫、事務所、休憩所、マイク Robbins、林業機械等

※2 ドアノブ、スイッチ類、手すり、マイク Robbins、林業機械のハンドル・レバー等

※3 消毒用エタノール(70%)又は次亜塩素酸ナトリウム(0.05%以上)

4 事業・業務の継続

(感染者発生に備えた準備)

業務形態を踏まえた取組を実施しておくことを検討してください。

(例)現場作業班間での感染を抑制するため、複数の作業班が同時に出席する会議・行事等の限定や作業班間の作業員の入れ替えの抑制。

(感染者発生時の事業・業務継続の準備)

事業者は、従業員が、新型コロナウイルスに感染し、濃厚接触者の出勤停止の措置を講じることにより、通常の業務の継続が困難な場合には、生産、販売等の事業を維持・継続するため、以下の対応を検討してください。

● 事業者は、事業を継続するために必要となる人員、物的資源(マスク、手袋、消毒液等)等を把握してください。

● 事業者は、事業継続のため、勤務体系・情報共有体制・人員融通体制を検討・整備してください。

● 事業者は、従業員の確保状況に応じて、生産・販売等の事業規模について検討し、事業の継続体制を整備してください。

(参考)従業員の確保状況による段階別の事業継続体制

事業者は、従業員の確保状況に応じて、段階別に事業継続体制を決定します。

【第一段階】

(業務の内容)原則通常どおりの業務(人員体制)早出・残業等で業務対応

【第二段階】

(業務の内容)生産体制や業務を縮小
小規模事業者の場合にあつては業務全体の休止も含め判断

(人員体制)早出・残業等での業務対応に加え、可能であれば、他部門からの応援

5 関係者との情報共有

● 林業経営体は、従業員等の中に新型コロナウイルス感染症が疑われる者が確認された段階から、都道府県林務部に状況を報告するようお願いします。

また、併せ、所属する業界団体等がある場合には、所属団体の事務局等に状況を報告し、業界内での情報共有を徹底するようお願いします。

● 木材関連事業者は、従業員の中に新型コロナウイルス感染症が疑われる者が確認された段階から、所属団体の事務局等に状況報告し、業界内での情報共有を徹底してください。



詳細につきましては、農林水産省のホームページにガイドラインのPR版とともに掲載しておりますので御覧ください。

【農林水産省ホームページ】

新型コロナウイルス感染者発生時の対応・業務継続に関するガイドライン
https://www.maff.go.jp/j/saigai/n-coronavirus/ncv_guide.html





とくしま林業アカデミー

とくしましみなみしょうまち
徳島県徳島市南庄町

修学期間：1年間 定員：20名

とくしま林業アカデミーは、平成28年4月に開講し、林業に関する知識と技術の習得、そして資格を取得し、即戦力として林業現場で働くことができる人材を養成する研修機関として、これまでの4年間で52名の卒業生全員を県内の林業事業体に送り出しています。

研修の進め方としては、4月から6月は座学と演習で基礎を学び、7月から10月にかけて現場実習で技術力を養い、11月から3月のインターンシップにおいて技術の向上と仕事としての林業を実践し、4月からの就業につなげています。

特にインターンシップは、就業をスムーズに行うために重要な研修カリキュラムと位置づけ、例年約15週間以上を充てています。研修時間や内容については、派遣先の指示に従い、現場作業員の一人として造林から素材生産までの様々な作業に従事し、仕事の連携、高度な技術力、やり遂げた達成感など、インターンシップでないと体感できない良い経験が積み上がっています。

また、通常の研修と大きく違うところは就業開始時間が早く、林業現場の勤務時間に事前に慣れることができる点です。多くの林業現場では集合時間が7時頃なので、朝が早く、就業時に戸惑うところですが、研修生はインターンシップでの経験を活かして、躊躇することなく対応できます。

インターンシップは就職先を決定づけるファクターでもあり、就職先を選択する際、求人票で就労条件を確認しますが、実際にその職場の雰囲気や体感できることは研修生にとっても重要な場となっています。一方で、雇用する事業体側にとっても、その人の適性を見る貴重な場となっています。

とくしま林業アカデミーにおいて、一年間の研修で林業の全てを習得させることは難しいですが、インターンシップを通じて、林業事業体に円滑に就業ができるように適切な指導、支援を行っています。

【インターンシップの様子】



初めての太径木伐採



フォワーダに積込み



任された造材作業



積込みしやすい場所にフォワーダ移動

人材育成の現場から



ふくい林業カレッジ

さかいしまるおかちょうらくま
福井県坂井市丸岡町楽間

修学期間：1年間 定員：長期コース（1年間）8名、短期コース（3ヵ月間）4名

ふくい林業カレッジは平成28年に開校し、林業に関する基礎知識や林業の就業に必要な資格の取得、現場実習などの研修を行い、林業事業体等で活躍できる人材を育成しています。1年間の長期コースが基本ですが、令和2年度から研修生や林業事業体からの要望に応え、資格取得を中心とした短期コースを新設しました。

長期コースは、全部で17科目、約1,300時間のカリキュラムからなり、その内訳は、座学が約200時間、現場実習が約350時間、林業事業体でのインターンシップが約550時間、資格取得が約200時間となっています。当カレッジでは現場で活躍する人材の育成を目的としていることから、現場技術の習得に重点を置き、インターンシップの時間が多いことが特色となっています。

インターンシップは、座学や現地実習、資格取得などの基礎的な研修を終えた後に実施します。1事業体当たり3週間のOJTを1回として、それぞれの研修生が異なる事業体で計5回のOJTを経験することとしています。複数の事業体でのインターンシップを通じて、研修生が自身の適性や興味を確認できるとともに、事業体ごとの職場の雰囲気や業務のやり方の違いを知ることができ、就業してからのミスマッチを減らすことができます。また、基礎的な研修で習得した技術を実際の業務で実践することにより、適応力や応用力を養うことにも繋がります。

研修生からは、「実際の業務体験を通じて、現在の自分の技術力を把握することができて良かった」、「複数の林業事業体を経験することで、林業全体の雰囲気を知ることができて良かった」との好評価が得られており、インターンシップ研修が効果的であると考えております。

今後も、受け入れ側の林業事業体と協力し、研修生が現場に近い技術力を身に付けられるような研修を行っていきたいと思います。

【インターンシップの様子】



伐倒作業



枝払い作業



搬出作業

ケニアにおける林木育種プロジェクト

■プロジェクトの概要

林木育種センターでは、気候変動適応策に資するため、国際的な技術協力や共同研究を通して林木育種技術の開発や技術移転を行っています。これらの取組を行っている国の一つであるケニアでは、国土の約八割が乾燥地・半乾燥地であり、平成二十二年時点で七%であった森林率を令和四年までに十%へ引き上げる政府目標を定めています。

林木育種センターでは、平成二十四年から平成二十八年まで国際協力機構（JICA）の技術協力「気候変動への適応のための乾燥地耐性育種プロジェクト」を通じて、耐乾燥性を有する郷土樹種 *Melia volkensii*（以下「メリア」） *Acacia tortilis*（以下「アカシア」）を対象として、カウンターパートであるケニア森林研究所と協力して、乾燥地耐性育種に取り組んできました。

プロジェクトでは、メリアについて

つぎ木を用いた二箇所のクローン採種園や八箇所の次代検定林を、また、アカシアについても二箇所の実生採種林をそれぞれ設置するなどを通じて、林木育種を進める上で必要な基盤を整備しました(図1)。

平成二十八年から、このプロジェクトはJICA技術協力「ケニア国持続的森林管理のための能力開発プロジェクト」の育種コンポーネントに引き継がれ、林木育種センターでは、引き続き、ケニア森林研究所とともに林木育種に取り組んでいます。

■メリア採種園等の改良

メリアは、銘木マホガニーや日本のセンドンの仲間の郷土樹種で、ケニアでは主に建材や家具材として利用されています。前プロジェクトでは、ケニア全土からメリア精英樹候補木を選び、つぎ木増殖した母樹を植栽して、優良な種子を生産するための採種園を造成しました(写真1)。本プロ

ジェクトでは、次代検定調査結果を基に、*断幹及び整枝剪定や、間伐による劣勢個体の除去を行い、採種園の改良を進めています。



写真1 たわわに実るメリアの果実

■メリア第二世代の選抜

採種園産の苗木を用いて造成されたメリア次代検定林で植栽後4年間の樹高等を測定して統計解析を行った結果、成長の優劣等の系統による違いが明らかになりました(図2)。この結果を基に、当初、本プロジェクトでの達成は見込まれていなかった材積成長、幹の通直性、樹病への耐性等、複数の望ましい特性を兼ねる優良なメリア第二世代個体を、育種開始からわずか7年で選抜することができました(写真2)。また、統計解析の結果、育種を進めると、世代あたり十%以上の成長の改良が見込まれると試算されました。



図1 採種園、検定林、採種林の位置図

*断幹 樹高成長を抑制し、下枝を充実させ、その枝から果実(球果、種子)や穂木を採取しやすい樹形をつくるために、樹幹を任意の(作業しやすい)高さで切断すること。

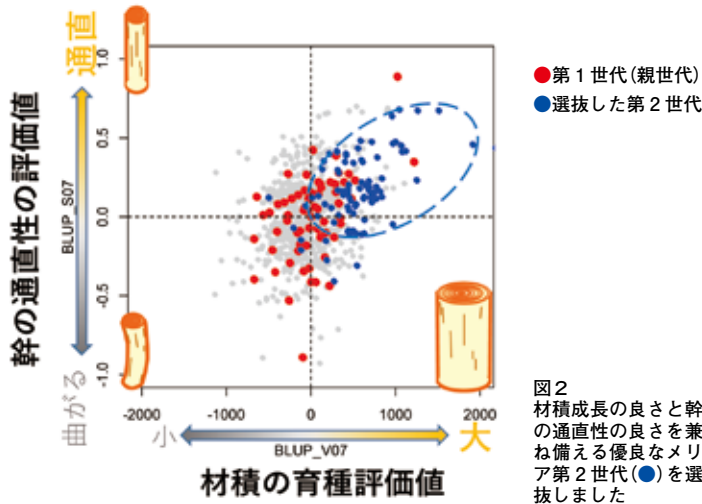


図2
材積成長の良さと幹の通直性の良さを兼ね備える優良なメリア第2世代(●)を選抜しました



写真2 選抜した優良な第2世代のメリアにペンキでマーキングをしました。評価の高い個体では植栽後4年で幹の直径が20cmに達しています



写真3 発根したメリアのさし木

■ 増殖技術の研究開発

メリアのつぎ木増殖技術は、前プロジェクトでほぼ確立されましたが、クローン増殖により苗木を効率的に増やすことが出来るさし木技術については、まだ実用レベルには至っていません。このため、様々な育苗条件を変えた試験を進め、発根までを確認することが出来ました(写真3)。また、アカシアについても、つぎ木によるクローン増殖技術の開発に取り組んでいます。

■ アカシア採種林の改良

アカシアは、乾燥した地域でも成長に優れ、主に家畜飼料や薪炭材として利用されています。プロジェクトで造成したアカシアの採種林は、検定林の役割も持っています。優良な種子を得るため実生苗の検定を行い、劣勢個体を間伐することで、採種林の改良を図ることとしています(写真4)。



写真4
アカシア採種林
左の樹高が高い方が平成27年12月、右が平成28年4月に植栽。間伐により採種林を改良する予定です

■ 今後の取組

本プロジェクトを通じて改良される優良メリアの種子及び苗木は、在来のものに比べて成長が早く材質も優れているため、年々増加する需要に、種苗の供給が追いつかない程の人気となり、民間企業も強い関心を示すなど、ケニア国内では高く評価されています(写真5)。



写真5 農地に植えられた改良メリア

このため、より成長や材質に優れた次世代メリアを生み出すための育種を引き続き進めるとともに、プロジェクトを通じてケニア政府や郡政府、民間企業等による優良種苗の生産を支援し、東アフリカにおける持続可能な森林経営の実現に貢献していくこととしていきます。



◀浅間山 (2,568m) とカラマツ林

国有林野事業の

取組

はじめに

大嘗宮建設資材(カラマツの良質な皮付き丸太)の供給について

樹皮を傷つけない搬出への挑戦



令和元年11月14日、皇位継承重要祭礼「大嘗祭」の中心儀式「大嘗宮の儀」が、皇居東御苑に特設された大嘗宮(廻立殿、悠紀殿、主基殿)で行われ(写真1)、その主要部材として、北海道森林管理局、関東森林管理局、中部森林管理局の国有林からそれぞれヤチダモ、スギ、カラマツの皮付き丸太計1,254本を供給



写真1 完成した大嘗宮

しました。

中部森林管理局からは、これら建物に使用する資材として、東信森林管理署(以下「東信署」という)管内の軽井沢町の国有林から生産されたカラマツの良質な皮

付き丸太1,100本を供給しました。

今回、供給に携わった佐久森林組合、株式会社吉本及び東信署が、丸太の皮を傷つけないように、各作業工程において、どのような工夫を行ったのか、その一連の作業を紹介します。

「管内概要」

東信森林管理署管内は、長野県東部で千曲川の上流に位置し、流域面積は247,696haで、長野県全体の18%を占めています。このうち国有林は、4市6町5村に所在し、その国有林野面積は58,741haで、流域面積の24%を占めています。中でも水源かん養保安林は国有林面積の90%と高く地域の重要な水源地となっています。

また、この地域には、学術的にも貴重な自然や動植物が存在しており、4地域が国立公園、国定公園の特別保護地区や特別地域に指定されています。国有林ではこの貴重な森林を保護林に設定し、豊かな自然環境の保護・管理に努めています。

さらに、湯の丸・高峰高原、白駒の池や双子池と山岳が一体となった優れた景観であること、リクリエーション施設等が整っていること、鉄道や道路交通網の整備も良いことから、森林浴やスキー、登山等を目的に首都圏などから多くの人が訪れています。



署の基礎データ

所在地	長野県佐久市白田 1822		
区域面積	247,696ha	うち森林面積	175,066ha (森林率：71%)
国有林面積	58,741ha (国有林率：34%)		
管轄区の関係市町村	4市6町5村 うえだし、とうみし、こもろし、さくし、ながわまち、かるいざわまち、みよたまち、たてしな 上田市、東御市、小諸市、佐久市、長和町、軽井沢町、御代田町、立科町、佐久穂町、小海町、青木村、北相木村、南相木村、南牧村、川上村		

中部森林管理局 資源活用課・東信森林管理署

樹皮を傷つけない 供給へ向けて



大嘗宮は、「黒木造り」という皮付き丸太を使用する伝統的工法で建築されます。主要部材の供給に当たっては、良質な皮付きの状態を維持するため、伐倒から運材、選木から保管に至るまで様々な工夫を行いました。

①伐倒から運材作業（写真2）

伐倒、造材、運材作業では、佐久森林組合及び株式会社吉本が樹皮の損傷



写真2

【写真上】樹皮の損傷を防止した運搬の様子
【写真左】丸太の損傷防止のためスリングベルトや緩衝材を使用



を最小限にするため、綿密な作業を行いました。

伐倒作業は、樹皮が剥げにくい時期（幹に水分を上げない秋～冬）に行い、衝撃が大きい斜面下方への伐倒は避け、伐根には伐採作業中に発生した枝などを被せるなど、伐採木への損傷を最小限にするための技術を駆使しました。枝払作業は、高性能林業機械では樹皮を傷つける可能性があることから、チェーンソー等で一枝一枝処理するなど細心の注意を払いました。

造材作業は、丸太を仕様書に合った長さや太さに造材するため、複数回切り直すなどサイズの微調整を行いました。

トラックへの積込みに当たっては樹皮を傷つけないように丸太に緩衝材を巻き、布製のベルト（スリングベルト）を使用してつり上げました。さらに、運搬車の荷台と丸太の間にも緩衝材を



写真3

曲がりや節の状況、皮むけや目まわり等の欠点を細かく確認しながら、丸太を選木する様子

設置し、丸太の損傷を防止しました。

②選木から保管作業

選木作業は、依頼された本数の約3倍の丸太を一列に並べ、署員が一本一本長さ、太さを測定し、曲がりや節などの欠点に加え樹皮の状況を確認しながら行いました（写真3）。

また、出材の途中では、注文と出材したサイズを確認し、情報の共有を的確に行うことを心掛けました。

さらに、丸太の引き渡しを行った令和元年6月までの保管に当たっては、変色や干割れ防止のために100枚以上の遮光シートで丸太を被覆した上で、シートが風で飛ばされないよう紐で固定し頻繁に巡回をして、めくれ等があればその都度手直しを行うなどの対策を講じました（写真4）。

最後に



通常、木材の品質は曲がりや節の状況で判断しますが、今回はこれらに加え樹皮の状態が良質な皮付き丸太が求められたので、東信署では、樹皮が痛まないよう出材作業での監督業務や選木作業、養生管理に署員総出で取り組み、令和元年6月に無事引き渡しを行いました（写真5）。

署員にとっては労力的にも精神的にも大変な作業でしたが、皇位継承に伴う歴史の一ページに関われたことは大変名誉なことであり、今後の業務の励みにもなるものでした。

また、各事業体及び署員の尽力により良質な皮付き丸太を無事供給できたことで、今後、国産材とりわけ「信州カラマツ」の利用がさらに拡大することを期待します。



写真4

遮光シートで保護し養生する様子



写真5

引き渡された丸太の積込みの様子

令和2年度 みどりの月間

毎年4月15日から5月14日は「みどりの月間」です。月間中は、緑の募金運動が重点的に実施されます。皆さまの積極的な参画をお待ちしています。

緑の募金

緑の募金は「寄附」という形を通して、国内外で行われる植樹や間伐などの森林整備や緑化、子供たちへの森林環境教育等を支援するもので、東日本大震災や平成28年熊本地震、平成30年7月西日本豪雨災害復興支援、北海道胆振東部地震、令和元年台風19号等災害の被災地域の復興の支援にも使われています。

今年も、4月15日(水)からの「みどりの月間」を緑の募金

全国一斉強調月間として、街頭やコンビニ等の店頭、インターネット等を通じて募金が行われています。ぜひ皆様の御協力をお願いいたします。



地元中学生の森林づくり活動



緑の募金ポスター

写真提供：国土緑化推進機構

みどりの学術賞

5月4日の「みどりの日」についての関心を促進し、植物、森林、自然環境などについて、国民の理解を深めることを目的に創設された「みどりの学術賞」については、今年^{なかせ いさお ふくだ ひろお}は中瀬 勳氏、福田 裕穂氏が受賞されました。お二人の功績に触れるなど、これを機会に「みどり」について考えてみてはいかがでしょうか。

関連ホームページ：<https://www.cao.go.jp/midorisho/>



中瀬 勳氏



福田 裕穂氏

「緑の雇用」事業

森林を守り育てる担い手のための知識・技能の習得を支援します。

ringyou.net

2020 ミス日本みどりの女神
井戸川 百花
Momoka Idojawa

自然と、生きる。

自然に、生きる。

JForest 全国森林組合連合会



新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。



厚労省 コロナ 検索



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

本誌に使われている紙は、
日本の森林を育てるために
間伐材を積極的に使用しています。

「林野」は林野庁 HP でもご覧になれます。詳しくは

情報誌 林野

検索

